

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 公告掲載URL https://www.shindengen.co.jp/ir/ (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

【お知らせ】

- 株式に関する住所変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増のお問合せについて
【証券会社等に口座を開設されている株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
【証券会社等に口座を開設されていない株主様】
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座が開設されております。
下記フリーダイヤルにお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
0120-232-711（三菱UFJ信託銀行証券代行部）
0120-094-777（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部） } 通話料無料
インターネットアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 配当金の支払通知書について
租税特別措置法の2008年改正により、お支払する配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をお送りしております。
【配当金を「配当金領収証」、または「口座振込」にてお受取りになられる株主様】
「支払通知書」を兼ねる「配当金計算書」を同封しております。株主様が確定申告をする際の添付資料としてご利用いただけます。
【配当金を株式数比例配分方式にてお受取りになられる株主様】
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 配当金の口座振込のご指定について
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 未受領の配当金について
三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

新電元工業株式会社

〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目2番1号(新大手町ビル)
電話 03-3279-4431(代表)
<https://www.shindengen.co.jp/>



第101期中間報告書 2023年4月1日～2023年9月30日

Business Report 2023.9

証券コード:6844

平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第101期（2024年3月期）の中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆様にご挨拶申し上げます。

当期の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、サプライチェーンの混乱に伴い生じていた部材供給問題が改善傾向にあるものの、地政学リスクの高まりに起因する物価の高騰や欧米各国の金融引き締め、中国景気低迷の長期化など、不安定な状況が続きました。

デバイス事業は自動車市場が概ね横ばい、家電・産機市場については中華圏における景気減速や流通在庫の調整が続いたため減少し、事業全体では減収となりました。損益面においては原価低減活動を進めたものの、減収影響や生産稼働率の低下、電気料金の上昇などにより減益となりました。

電装事業は主力の二輪向け製品がインドネシアやインドにおいて好調を持続したほか、四輪向け製品の伸長や為替相場が円安に推移したこともあり増収となりました。損益面においては、増収や円安効果などにより増益となりました。

このようななか、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比で増収、営業利益は電装事業における増収効果があったものの、デバイス事業の減収が響き、減益となりました。

今後の見通し

当社グループは、第16次中期経営計画（2025年3月期までの3ヶ年計画）の経営方針である「稼ぐ体質づくり」、「伸長事業拡大の布石」、「温室効果ガス排出量削減分野へのリソース配分」に基づき、消費電力を低減するパワー半導体の新製品開発や二輪EV向けPCU（パワーコントロールユニット）のインドでの量産開始、トラックやバスなどの商用EV

向け充電器のラインナップ拡充など、事業活動の拡大に向けた取組みを進めております。

このほか、ESG経営の高度化に向けてサステナビリティ推進体制を整備し、基本方針に沿って活動を展開するなど、引続き企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けた諸施策に取り組むことで、株主の皆様共同の利益に繋げてまいります。

なお、2024年3月期の連結業績は、売上高100,900百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,300百万円、親会社株主に帰属する当期純損失700百万円を見込んでおります。また、2024年3月期の配当金は1株当たり130円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



新電元工業株式会社

代表取締役社長 田中 信吾

◇ 当期のポイント

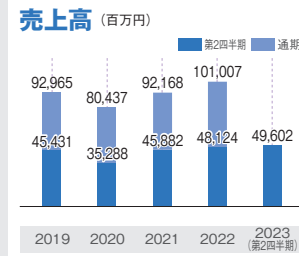
POINT-1 中華圏景気減速等によりパワー半導体需要大幅減少も、二輪向け製品好調や円安効果で増収

POINT-2 電装事業の増収効果があるも、デバイス事業の減収影響が全体を押し下げ減益

POINT-3 純利益は繰延税金資産の取り崩しや持分法適用関連会社の投資有価証券売却損計上により減益

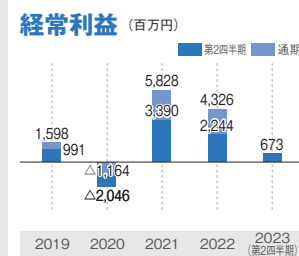
◇ 連結業績の推移

		第99期 (2021年度)	第100期 (2022年度)	第101期 (2023年度)
売上高	第2四半期	45,882	48,124	49,602
	通 期	92,168	101,007	—
営業利益	第2四半期	3,487	1,479	406
	通 期	5,562	3,621	—
経常利益	第2四半期	3,390	2,244	673
	通 期	5,828	4,326	—
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	第2四半期	3,404	1,540	△958
	通 期	5,902	1,644	—
1株当たり四半期（当期）純利益	第2四半期	330.31	149.42	△92.95
	通 期	572.70	159.56	—
総資産	第2四半期	129,644	140,400	147,683
	通 期	135,041	138,092	—
純資産	第2四半期	53,158	63,085	67,207
	通 期	57,229	62,539	—
1株当たり純資産	第2四半期	5,157.37	6,119.17	6,516.79
	通 期	5,552.41	6,066.34	—



売上高 **49,602百万円** 前年同期比 1,478百万円増

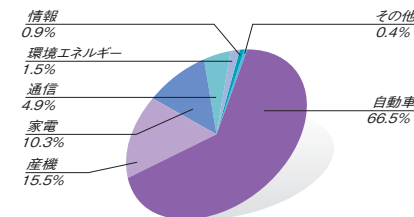
売上高は、中華圏における景気減速や流通在庫の調整が続いたことを主要因としてデバイス事業が大幅に減少したものの、二輪向け製品の好調により電装事業が伸長したほか為替相場が円安に進行したことが後押しとなり、増収となりました。



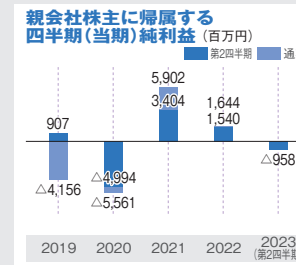
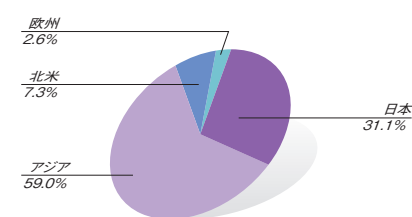
経常利益 **673百万円** 前年同期比 1,570百万円減

経常利益は、電装事業における増収効果があったものの、デバイス事業の減収が響き減益となりました。

市場別売上構成比率

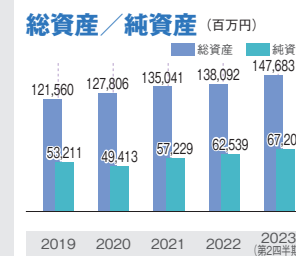


仕向地別売上構成比率



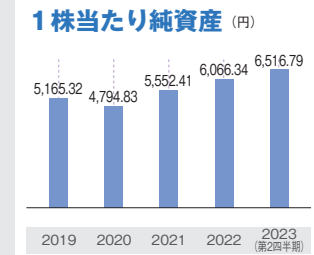
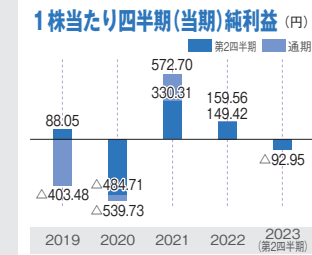
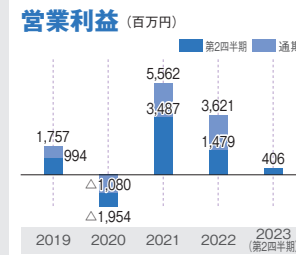
親会社株主に
帰属する
四半期純損失 **958百万円** 前年同期は、1,540百万円の利益

親会社株主に帰属する四半期純損失は、繰延税金資産の取り崩しや持分法適用関連会社の投資有価証券売却損を計上したことなどにより、減益となりました。



総資産 **147,683百万円** 前期末比 9,590百万円増
純資産 **67,207百万円** 前期末比 4,668百万円増

総資産は、主に現金及び預金や棚卸資産などが増加しました。

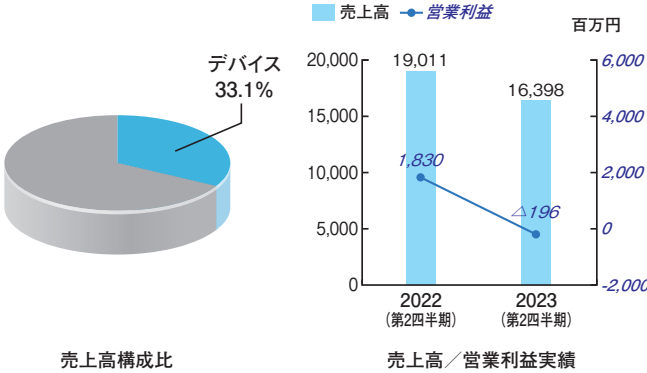


デバイス事業

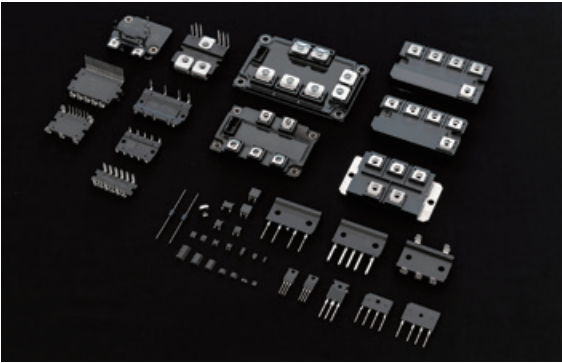
概況（2024年3月期）

デバイス事業の売上高は16,398百万円（前年同期比13.7%減）、営業損失は196百万円（前年同期は1,830百万円の利益）となりました。

自動車市場は概ね横ばい、家電・産機市場については中華圏における景気減速や流通在庫の調整が続いたため減少し、事業全体では減収となりました。損益面においては原価低減活動を進めたものの、減収影響や生産稼働率の低下、電気料金の上昇などにより減益となりました。



主要製品



- ダイオード各種
 - ・一般整流ダイオード
 - ・ブリッジダイオード
 - ・高速整流ダイオード
 - ・ツェナーダイオード
- サイリスタ
- SIDAC
- パワー-MOSFET
- パワーIC
- パワーモジュール

主な用途

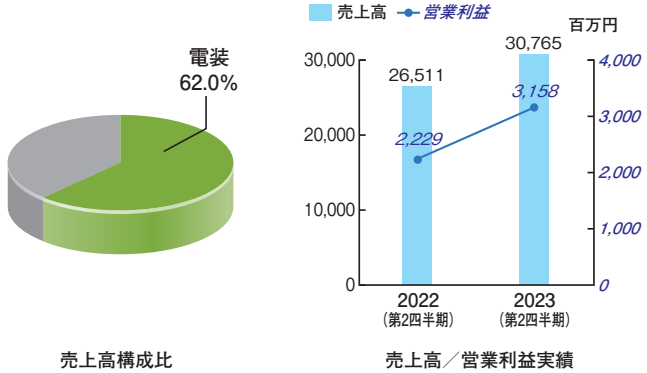
自動車、産業機器
デジタル家電、白物家電
通信機器、OA機器など

電装事業

概況（2024年3月期）

電装事業の売上高は30,765百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は3,158百万円（前年同期比41.7%増）となりました。

主力の二輪向け製品はインドネシアやインドにおいて好調が続いたほか、四輪向け製品の伸長や為替相場が円安に推移したこともあり増収となりました。損益面においては、増収や円安効果などにより増益となりました。



主要製品



- 二輪車用電装品
 - ・レギュレータ／レクチファイア
 - ・CDI
 - ・FIシステム向けECU
- 四輪車用電装品
 - ・DC/DCコンバータ
 - ・ECU
- 汎用製品
 - ・発電機用インバータ

主な用途

二輪車、四輪車、船外機
発電機

◇ その他

その他の売上高は2,437百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失は262百万円（前年同期は234百万円の損失）となりました。

◇2025年 春 発売予定、「うれしい」を充たしつづける、MITUSです。

2023年11月15日、当社が手掛けるEV充電器の新ブランド「MITUS」を発表しました。



新電元が歩む、
次なるEV充電器への
スタートライン。



MITUS
特設ページはこちら

◇技術でモータースポーツを応援

当社は2006年から株式会社ホンダ・レーシング（HRC）のオフィシャルスポンサーを務めております。HRC直轄のワークス・レーシングチームであるレプソル・ホンダ・チームのレース車両には、当社製の部品が採用されております。

●採用実績のある当社製部品

レギュレータ

バッテリー電圧を調整する装置

DC/DCコンバータ

電動モータのエネルギー源となる高圧バッテリーの電力を低圧に変換する装置

電力分配ユニット

バッテリーから各機能に出力される電流・電圧を制御し、過電流させないよう監視する装置



レプソル・ホンダ・チームはロードレース世界選手権のMotoGP™クラスに参戦しており、世界各地のサーキットで何万人もの観客を熱狂させています。当社役員・従業員にもMotoGP™ファンは多く、今年も役員・従業員が栃木県にあるモビリティリゾートもてぎに観戦に訪れ、熱い声援を送りました。

多くの人々を魅了する世界最高峰のレースに携われることは、たいへん名誉なことであり、従業員のモチベーションアップにもつながっています。今後も当社の技術を通じてHRCへ貢献し、共にモータースポーツ界を盛り上げてまいります。



◇地域とのつながり

当社朝霞事業所（埼玉県朝霞市）は地域社会とのつながりを深め、豊かなコミュニティづくりに取り組んでいます。環境への取組みとして、当社は2022年2月にEV用急速充電器「SDQC2F60UT3210-M」2台を朝霞市に寄贈しました。また、朝霞市によって設立された「みどりのまちづくり基金」に2023年2月に寄付をする等、地域社会の環境との調和に向けた取組みを支援しています。

地域社会との共存共栄への取組みとして、毎年8月に開催される朝霞市民まつり「彩夏祭^{さいかさい}」に協賛しました。彩夏祭は、例年60万人が訪れる人気のイベントです。お祭りは3日間にわたって開催され、昼にはパワフルなよさこい鳴子踊りが繰り広げられました。また、地域の子供たちを支える活動として、2023年6月に当社陸上競技部が朝霞市の「仲町どろんこ保育園」において、園児向けの陸上教室を開催しました。教室では、足上げの練習やリレーの走り方など早く走るコツを実業団で活躍する選手たちが園児に教え、鬼ごっこなど遊びを通じて楽しみながら元気に体を動かしました。

地域の活性化は、そこで働く従業員の幸せにもつながります。新電元グループは、地域社会の一員として「より良い地域社会づくり」に貢献していくため、今後も全世界で地域に根差した社会貢献活動を展開してまいります。



朝霞市民まつり「彩夏祭」協賛広告
「朝霞駅 南口前」



陸上競技部による陸上教室
「仲町どろんこ保育園」

◇新電元工業陸上競技部X（旧Twitter）



新電元工業陸上競技部X（旧Twitter）では選手紹介や日々の練習の様子を公開しています
フォロー・応援をよろしくお願いいたします！

◇会社概要

商号 新電元工業株式会社
本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
同所は登記上の本店所在地で実際の業務は朝霞事業所で行っております。
朝霞事業所 埼玉県朝霞市幸町三丁目14番1号
設立年月日 1949年8月16日
資本金 17,823百万円
従業員数 連結：5,346名 単体：1,008名
主要事業所 朝霞事業所・大阪支店・名古屋支店

◇取締役および監査役

代表取締役社長	田中 信吉	取締役	北代 八重子
取締役	堀口 健治	常勤監査役	森田 俊英
取締役	受川 修	監査役	二瓶 晴郷
取締役	佐々木 正博	監査役	辻 さちえ
取締役	西山 佳宏		

（注1）取締役西山佳宏および北代八重子の両氏は、社外取締役であります。
（注2）監査役二瓶晴郷、辻さちえの両氏は、社外監査役であります。

◇執行役員

専務執行役員	堀口 健治	執行役員	小島 卓也
常務執行役員	受川 修	執行役員	大西 高弘
常務執行役員	佐々木 正博	執行役員	横井 義治
上席執行役員	児玉 光司	執行役員	松尾 博文
上席執行役員	西 智昭	執行役員	千葉 昌治
執行役員	古川 直之	執行役員	羽 鳥 敏

◇グループ企業一覧

国内	海外	
株式会社秋田新電元	Lumphun Shindengen Co., Ltd.	新電元（上海）電器有限公司
株式会社東根新電元	Shindengen Philippines Corp.	Shindengen America, Inc.
株式会社岡部新電元	PT.Shindengen Indonesia	新電元（香港）有限公司
新電元スリーイー株式会社	Shindengen India Pvt. Ltd.	Shindengen UK Ltd.
新電元熊本テクノリサーチ株式会社	Shindengen Vietnam Co., Ltd.	Shindengen Singapore PTE Ltd.
新電元エンタープライズ株式会社	広州新電元電器有限公司	
株式会社ヘルメスシステムズ	Shindengen (Thailand) Co., Ltd.	
新電元メカトロニクス株式会社		

本書における、将来の見通しに関する記載につきましては、現時点で得られた情報に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

◇株式の状況

発行可能株式総数 31,000,000株
発行済株式総数 10,338,884株
株主数 10,353名
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
本田技研工業株式会社	1,336千株	12.96%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	837	8.12
中央日本土地建物株式会社	502	4.87
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	356	3.46
朝日生命保険相互会社	325	3.16
新電元工業協力会社持株会	277	2.69
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	273	2.65
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	206	2.00
新電元工業従業員持株会	205	1.99
損害保険ジャパン株式会社	200	1.94

（注）出資比率は自己株式（普通株式25,920株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

